

【 診療科:呼吸器内科 】
 【 レジメン登録番号:IP-36 】

〈 CBDCA+PEM+Pembrolizumab療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)															
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21				
キイトルーダ	200mg	div	○															
アリムタ	500mg/m ²	div	○															
カルボプラチン	AUC:5	div	○															

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 4 コース】

【適応癌種: 非小細胞肺癌(非扁平上皮癌)】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準
Plt、好中球	Plt \geq 50000/ μ Lかつ好中球 $<$ 500/ μ L	アリムタ:375m/m ² 、カルボプラチン:AUC3.75(Max562.5mg)	
Plt	Plt $<$ 50000/ μ Lで出血なし(好中球数によらない)	アリムタ:375m/m ² 、カルボプラチン:AUC3.75(Max562.5mg)	
Plt	Plt $<$ 50000/ μ LでGrade2以上の出血あり(好中球数によらない)	アリムタ:200m/m ² 、カルボプラチン:AUC2.5(Max375mg)	
好中球	好中球 $<$ 1000/ μ Lかつ38.5°C以上の発熱(Pltによらない)	アリムタ:375m/m ² 、カルボプラチン:AUC3.75(Max562.5mg)	

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	キイトルーダ 200mg	div(30分で)
	生理食塩水 100mL ^{※1}	
Rp.2	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.3	デキサート 6.6mg	div(15分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.4	アリムタ 500mg/m ²	div(10分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.5	カルボプラチン (AUC:5) × (GFR+25)	div(60分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.6	生理食塩水 50mL	div(全開で)

4コース終了後の維持療法

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	キイトルーダ 200mg	div(30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.3	デキサート 6.6mg	div(15分で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.4	アリムタ 500mg/m ²	div(10分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.5	生理食塩水 50mL	div(全開で)

【参考文献:The New England Journal of Medicine Vol.378:2078-2092】

【備考:※1:最終濃度が1~10mg/mLとなるように調製すること。インラインフィルターを用いて投与すること。

重篤な副作用の発現を軽減するため、葉酸及びビタミンB12を投与すること

※葉酸:本剤初回投与の7日以上前から、葉酸として1日1回0.5mgを連日経口投与する。

なお、本剤の投与を中止または終了する場合には、本剤最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。

※ビタミンB12:本剤初回投与の少なくとも7日前に、ビタミンB12として1回1mgを筋肉内投与する。

その後、本剤投与期間中及び投与中止後22日目まで9週毎(3コースごと)に1回投与する。】

【変法情報: 4コース終了後、増悪なければアリムタ+キイトルーダによる維持療法を行う。(35コースまで)】